

令和 8 年度 若手看護職のリーダーシップ教育研修 I
 ～部署の課題を考えよう～

I 目 的：これからの時代において、経験年数の若い年代の看護職はリーダーシップを発揮し医療・看護をけん引していく重要な存在となる。卒後 2・3 年目の時期に組織を望ましい方向へ導く経験をする事で、将来リーダーとしての役割を担うことへの動機づけとする。また、自分にできることを考えて行動し、自部署の課題に取り組む過程において、リーダーシップを発揮することができる。

II 目 標：

1. リーダーシップの基本的知識を身につけることができる。
2. 指導者の支援を受けながら自部署の課題を見出すことができる。
3. 見出した課題を、部署担当者・スタッフと共有し、問題意識を高めることができる。
4. 見出した課題が解消される方向につながる方略を考え、指導者・部署管理者・スタッフとともに実行することができる。
5. リーダーシップを発揮する上で自己の課題を明らかにできる。

III 開催日時：令和 8 年 6 月～12 月

IV 開催方法：オンデマンド講義、演習及び実践

V 対 象 者：各所属施設の卒後 2 年目看護師

VI 受 講 料：受講者数に関係なく、1 施設（会員施設：14,000 円、非会員施設：20,000 円）

VII 内 容

月	内容	担当	
6 月	オンデマンド講義	①若手看護職がリーダーシップ能力開発のための研修を行う必要性 ②リーダーシップについて ・リーダーシップの変遷 ・いろいろなリーダーシップスタイル ③課題取り組みの方法について ・自部署の課題取り組み企画書について ・自己評価表について ④リフレクションについて ・リフレクションとは ・リフレクションの活用 ⑤GW 課題を見つけよう（6～8W で取り組める課題とする）	各施設において受講生と指導者、および部署所属長は必ず同席して DVD 視聴すること（施設看護職代表者は推奨とする） ⑤は受講生と指導者とで一緒に検討
7 月～12 月	課題への取り組み 実践評価	・取組み途中、受講生と指導者とで、リフレクションを 2 回実施 ・12 月までに計画書と自己評価表を PDF にして提出 ・必ず自施設での報告会実施	施設の各部署指導者

受講証明書：自己評価までできた研修受講者に発行する

予告) 2 月頃、岐阜県全体での報告会を開催します。各施設で代表者に報告してもらいます。